共生

奈良県生協連
2019年7月
NO.113

第30期奈良県生協連総会

Peace Now！奈良 2019
（奈良市高畑町に建つ奈良連隊跡記念碑）

県連総会 懇親会の様子

もくじ

奈良県生協連30期通常総会…… 1・2
会員生協からの報告…… 3・4
退任・就任のご挨拶…… 5
おじゃましました～奈良県医療福祉生協の巻～… 6
ならシニア元気フェスタ出展・他…… 7
環境・平和…… 8
NPO法人なら消費者ねっと第4回総会・学習会… 9
3.11を忘れない…… 10

奈良県生活協同組合連合会機関誌

奈良県生協連 第30期通常総会を開催しました

2019年6月22日(土) 奈良ロイヤルホテル

6月22日、奈良県生活協同組合連合会第30期通常総会を開催しました。2018年度事業報告と2019年度計画・予算案などが確認され新たな一年のスタートを切りました。会場には会員生協組合員・役職員の他、日ごろから協力連携していただいている行政・諸団体からも多数ご臨席賜り、合わせて99人が一堂に会し、各会員生協からの活動報告も含め奈良県の生協の1年間の取り組みの様子を共有しました。

奈良県生協連 森会長

奈良県 田中課長

森林組合連合会
槌野専務

奈良県社会福祉協議会
中常務

日本生協連
北村局長

森宏之奈良県生協連会長は冒頭の挨拶で、「増税や自然災害多発の中で暮らしは厳しく不安が多いが、小さな協同を深め重ねていくことで県の隅々に生協運動を広げていきたい」と述べました。来賓の奈良県消費・生活安全課課長田中利亨様より「消費者被害や貧困、高齢者の生活など地域にある課題解決に向け県政も取り組みを進めているので今後もぜひ連携をお願いしたい」との祝辞を頂戴しました。奈良県森林組合連合会専務の槌野均様、奈良県社会福祉協議会常務理事の中幸司様、日本生活協同組合連合会関西地連事務局長の北村洋様からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

議長にならコープ代議員の堀井久栄さんが選出され議事に入り、議案の一括提案と各会員生協の活動報告を行いました。代議員27名中、実出席26、委任出席1の合計27名の出席で審議採決し、全議案が賛成多数で可決成立しました。

承認された議案

第1号議案　2018年度事業報告・決算報告承認の件
第2号議案　2019年度事業計画及び予算案決定の件
第3号議案　役員選任規約改定の件
第4号議案　役員選任の件
第5号議案　役員報酬決定の件

司会の西田有希さん

議長の堀井久栄さん

ご臨席いただいた来賓の皆様(順不同)

- 奈良県くらし創造部消費・生活安全課　課長 田中 利亨 様
- 奈良県森林組合連合会　代表理事専務 槌野 均 様
- 奈良県社会福祉協議会　常務理事 中 幸司 様
- 日本生活協同組合連合会関西地連　事務局長 北村 洋 様
- 奈良県消費生活センター　所長 上中 三恵 様
- 近畿労働金庫　地域共生推進室長 八尾 高伸 様
- 特定非営利活動法人なら消費者ねっと　理事長 北條 正崇 様
- 奈良県地域婦人団体連絡協議会　会長 岡波 圭子 様

寄せられた祝電メッセージ 62件
ありがとうございました。

～懇親会では 活動紹介や情報交換で参加者が交流しました～

懇親会風景

近畿労金八尾室長

なら消費者ねっと
北條理事長

地婦連岡波会長

総会終了後は支援団体の皆さまや会員同士の懇親会を行いました。森会長からの新役員体制報告の後、近畿労働金庫地域共生推進室八尾高伸室長、特定非営利活動法人なら消費者ねっと北條正崇理事長、奈良県地域婦人団体連絡協議会の岡波圭子会長からも挨拶をいただき、和やかに始まりました。分野も年代も異なる人たちが、活動紹介などをしながら笑顔あふれる情報交換と交流が進みました。今期は専務理事の交代をはじめ、役員の交代が多かったため、最後は退任・新任役員それぞれが、生協運動への思いを語る場面となり会場から大きな拍手が送られました。

2019年度の重点課題

- ○ 協同組合の理念を広げ協同の心が息づく取り組みをすすめます
- ○ 諸団体と連携・協働し、安心して暮らせる地域共生社会づくりに参加します
- ○ 平和とよりよいくらしの実現のため社会的諸課題を学び考える場をつくります
- ○ 会員生協の交流と連帯を強めます

おつかれさまでした!
今期で退任の皆様

退任理事
西田有希さん
（高専生協）

退任理事
仲宗根迪子さん
（医療福祉生協）

退任理事
小松原尚さん
（県立大生協）

退任監事
松村由美さん
（ならコープ）

よろしくおねがいします!
新任理事・監事の皆様

新任理事
橋本健太さん
（高専生協）

新任理事
福山明浩さん
（医療福祉生協）

新任理事
水谷知生さん
（県立大生協）

新任監事
三田幸子さん
（ならコープ）

2019年度の役員体制

会　長	森　宏之	員外	理　事	中野　素子	市民生活協同組合ならコープ
副会長	中井　信司	奈良県労働者共済生活協同組合	理　事	橋本　健太	奈良工業高等専門学校生活協同組合
専務理事	山本　弘志	員外	理　事	福山　明浩	奈良県医療福祉生活協同組合
理　事	石間奈穂子	奈良教育大学生活協同組合	理　事	水谷　知生	奈良県立大学生活協同組合
理　事	柏原　勇介	生活協同組合コープ自然派奈良	理　事	山中　教義	市民生活協同組合ならコープ
理　事	加藤　由美	奈良女子大学生活協同組合	監　事	稲津　和之	奈良県労働者共済生活協同組合
理　事	城本　曌	生活クラブ生活協同組合	監　事	三田　幸子	市民生活協同組合ならコープ

会員生協からの報告

奈良県医療福祉生活協同組合

湊　初恵さん

事業収益合計は予算には届きませんでしたが経常剰余は黒字化できました。組合員と役職員で年4回いっせい広報活動を実施、健診をよびかけ特定健診件数は大きく伸びました。組合員交流会や各種イベントで新規加入や増資のお知らせし加入、増資の運動が前進しました。健康づくりの学びの場「すこやか塾」は3回開催しました。機関紙の手配りボランティアは210人233コース約5000人に配布出来ました。組合員活動では6つの地域委員会がそれぞれの地域で活動をすすめました。2019年度はすこやかカフェ、すこやか塾の開催に取り組んで身近な範囲で活動をすすめていきます。第7回いきいき健康まつりは10月27日(日)を予定しています。ご参加よろしくお願いします。

奈良県労働者共済生活協同組合

前田　猛さん

昨年6月大阪北部地震や台風21号など2018年は自然災害が猛威を振るった年でした。奈良県内でも2000件以上の被害があり、自然災害のリスクは高い状態です。今こそ私たち生協組織がさまざまな連携をすすめ、組合員や地域で一緒に考え、行動することが重要であると考えています。具体的な活動として昨年11月3日に“紡いでゆく、みんなの防災”紡災ヴィラを開催しました。奈良県防災統括室や気象予報士片平敦氏の講演、奈良教育大学・奈良県立大学学生によるパネルディスカッションなどを実施しました。また奈良県医療福祉生協の健康体操や健康チェック、防災体験ブースなど防災・減災について考える機会となりました。全労済は2019年6月からこくみん共済COOPと愛称を変え助け合いの仕組みを提供する協同組合として「誰一人取り残さない社会づくり」を進めていきます。

生活協同組合コープ自然派奈良

上市　佳織さん

2018年の組合員活動は活動主体22、イベント92回、参加者1900名、託児49回キッズスタッフ86名の活動となりました。「生産者とつながる」「地域とつながる」「社会とつながる」を方針に生産者とともに大和ひめみこ米を生産、無農薬の米作り講習会を開催、味噌づくりや産地訪問など企画しました。わたしたちは誰もがオーガニックを食べられる社会をめざしています。また地域でのつながりが求められている中、近くで住む人同士がつながる体験イベントを開催しました。平和・憲法・政治・種子法など社会的課題やまだまだ認知されていない化学物質過敏症・香害などを学習しました。勉強できる一緒に行動できることが生協だと思っています。これからもみんなで学び広めていくことが必要だと考えています。

生活クラブ生活協同組合

甲斐　京子さん

福島の子どもたちが短期間でも放射能の心配のない地域で過ごし、外部・内部被ばくを減らし、気持ちをリフレッシュする効果があるリフレッシュツアーを生活クラブ奈良で初めて取り組みました。8月28日から31日、福島の3家族(大人5名、子ども6名)を明日香村橘寺で住職の奥様、組合員の協力で宿坊宿泊が実現しました。生活クラブの消費財づくしのメニューで組合員、理事、事務局を交えて交流を深めました。また手作りした柿の葉ずしは大変好評でした。甲状腺検査活動として奈良の耳鼻科で検査し以前嚢胞があるといわれていた中学生が今回の検査でなくなっていたとお母さんがほっとされていました。ツアーの費用は全国の生活クラブで取り組んでいる復興支援カンパ、奈良の組合員カンパで賄いました。今後も継続したい活動のひとつです。

奈良工業高等専門学校生活協同組合

吉村　遥人さん
吉岡　拓海さん
高橋　龍都さん

生協学生同好会は約20名で毎週月曜日放課後に活動し企画の準備やポスターの作成、ひとことカードの返信をおこなっています。4月には学生会執行部と合同で新入生歓迎会を新2年生の部員が企画・立案、上級生が企画運営スタッフとして活動しました。5月、11月には無償自転車点検を実施、今年度は有償修理も可能になる予定です。5月の生協総会では分科会で生協への要望を提案、集約などお手伝いしました。7月のかき氷企画ではシロップやトッピングを考案し3日間で387杯提供出来ました。12月食生活相談会には42人の参加があり、飲酒ゴーグルやアルコールパッチなど6つのブースと栄養士さんへの栄養相談会も開催しました。1月の組合員に憩いの場を提供するタヌロー喫茶を開催、3月新入生・保護者に向けて高専生の1日の生活や学校行事を説明しました。これからもみんなで「生協があって良かった」と組合員に喜ばれる企画に取り組みたいです。

奈良県県立大学生活協同組合

金ヶ江　七海さん

今年度奈良県立大生協基本方針をもとに学生委員会は「常に組合員中心にある生きた生協・つながる生協」をスローガンに活動しました。その中で社会的課題を学生委員も楽しみながら組合員に還元できる活動として「プロフェッショナルの時間」を企画しました。それぞれの興味を持った分野に分かれて調査・発信・組合員の参加企画で最後に組合員にポスターで発信する形で「組合員の参加のしやすさ」「組合員の生活の充実につながる」「地域さまざまな団体との連携をとる」三つの観点でコンペを評価しました。防災ハンドブックを作成・環境では校内清掃員さんへのごみ分別などのインタビュー・フェアトレード商品取り扱いについてアンケート・健康ではアルコールパッチテスト・国際交流としてゲストハウスGisgoodで外国人と国際交流などの取り組みが出来ました。2019年の生協学生委員会方針「常に組合員の中心にある生きた生協・活かす生協・つながる生協」を目指します。

奈良教育大学生活協同組合

大濵　良太さん

今年度の実施企画の中から夏祭り防災weekを紹介します。7月21日(土) 例年、この時期に「組合員還元企画」として夏祭りを開催しています。2年前からは大学周辺の地域の方や、付属小学校、大学周辺の小学校や保育園などにお知らせすると親子づれでたくさんの方が遊びに来てくれるようになりました。そこで今年は日頃の感謝の気持ちを伝える「地域貢献イベント」として開催することにしました。軽音楽部やアカペラサークルなど学内団体の協力も得ることが出来ました。当日は天候に恵まれ子どもたちと一緒に楽しく遊び、笑顔の多いイベントとなりました。2018年は「災害の年」といわれるほど多くの災害に見舞われました。大学生にも防災意識を高めてほしいと「防災week」企画しました。防災バッグを作って販売、SNSを使って啓発も行いました。1年を通して自分たちの活動に意義ややりがいを感じながら取り組むことが出来ました。

奈良女子大学生活協同組合

村松　愛理さん

奈良女子大学生協WINDYは組合員の生活をより良いものにするためにサポートする団体です。WINDYは部局制を設けていて、共済局、店舗局、ビジョン局、VOICE局の4局で、新歓活動として新入生応援冊子、受験宿泊、エントランスイブ、受験相談会を行っています。私自身がWINDYに入るきっかけとなったのは試験前日の受験サポートの一つ「下見案内」でした。試験当日の教室まで案内しながら、自分の経験談をもとに私の不安や緊張を和らげてくれ、ほかにも奈良のいいところなどたくさん教えてくれた先輩のおかげで「明日の試験頑張ろう、合格したらお礼を言いたい、そして私も合格したらこの団体に入りたい」と思いました。奈良女を受験したからWINDYに出会うことが出来たと思います。これからも組合員に手厚いWINDYを後輩たちにも引きついでいってほしいと思います。

市民生活協同組合ならコープ

森本　宏美さん
中辻　利佳さん

生協月間に合わせて開催された「組合員のつどい」のテーマ「誰もがいつまでも笑顔でくらせる社会を目指してならコープの取り組みとSDGs」とし、エシカル消費について学び産直商品の利用を呼びかけました。食育活動「お米を育てよう」はJAならけんと取り組む地産地消をすすめる会で「種まき編」「田植え編」「吉野分水ツアー編」「かかし作り編」「写生大会編」「稲刈り編」の6回シリーズで実施しました。奈良県とならコープとの子育て支援事業「つながる箱」のプレゼント事業は2019年も取り組んでいきます。元コープ六条店は「コープふれあいセンター六条」として荷受けハウスや夕食宅配基地、フードバンク奈良への食材提供拠点として地域の居場所づくりを目指しています。最後に45周年を迎え組合員と職員がともに学び、体感し、広め、伝えることを活動と事業の柱とし持続可能な社会の実現に向けて誰も取り残さない安心して暮らせる地域づくりを目指します。

退任にあたって

辻　由子

私が専務理事に着任させていただいた2011年は東日本大震災で日本社会が大混乱する中、翌年の国際協同組合年にあたって協同とたすけあう組織としての生協の価値が注目された時期でもありました。期待と役割に応える県連運営に一歩でも近づきたいと、大きな重責に負けそうになりながらも、会員の皆様の声と関係各位の励ましに支えられ今日まで頑張ってまいりました。心より感謝申し上げます。

8年のうちには、ピースアクションやNPT再検討会議への代表派遣、被爆証言継承活動の支援など、平和の活動においては記憶に残る取り組みがいくつもありました。また当時社会問題として県内での対応を望む声の多かった消費者課題ではネットワークを立ち上げ、やがてこの組織が「NPO法人なら消費者ねっと」へと育ちました。県生協連と会員生協が設立に関わった新たな生協「奈良県医療福祉生協」の創立も大きな出来事でしたが、今みんなの努力と応援によって地域に根を張りつつあります。そして、最近では誰も取り残さず安心して暮らせる「地域共生社会」づくりという、とてつもなく大きなテーマに向かって地域行政や諸団体の皆様との連携のもと、子どもや高齢者、くらしの様々な問題に向き合い学びを重ねつつあります。県連がこのように活動の幅を広げることができたのも、参加された多くの方々の強い志とご努力のおかげです。

奈良県生協連の活動にかかわる全ての皆様に感謝の意をささげ、新体制でのさらなる生協運動の発展と会員の皆様、関係各位の益々のご活躍をお祈りしつつ、退任のご挨拶とさせていただきます。

専務理事就任にあたって

山本 弘志

この度、新しく専務理事に就任しました山本弘志と申します。

仲宗根元専務、辻前専務と組合員の立場で物事を捉え幅広い見識で取り組まれた歴代の諸先輩に学び、会員生協、関係諸団体と連携し、早くご期待に添えるように努力してまいります。

ならコープに入協して35年になりますが現場経験を経て、人事総務関連、コープきんき事業連合では経営管理部局と長年に亘り管理系の業務についてきました。

生協運動への関わりは決して経験豊かではありませんが、奈良県生協連の29年の歩みをあらためて振り返り、奈良県内の会員生協が分野を超えて様々な活動で力を合わせて地域・組合員へ貢献できるように取り組みます。

生協の強み（魅力）のひとつに“人との出会い”と“つながり”があり、それが「食の安全・安心」、「平和への取り組み」、「環境・エネルギー」、「消費者運動」、「防災・減災・復興支援」、「思いをつなぐ地域づくり」、「地域共生社会」などの幅広い活動を通じて、よりよいくらしの実現や地域に役立つ取り組みに発展しています。

くらしへの負担や情勢は一段と厳しさを増す中で、奈良県生協連の役割発揮はさらに期待もされ、やりがいがあります。

これから記念すべき創立30周年の準備も始まります。事業と活動の発展に向けて会員生協、諸団体のみなさまのご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

～奈良県医療福祉生協の巻～

おじゃましました

6月4日に奈良県医療福祉生協のみみなし診療所生協ホールで、「すこやかカフェ」が開催されるとお聞きしおじゃましてきました。

みみなし診療所入り口

すこやかカフェ（案内チラシから）

毎月第1火曜日　10：00～12：00　生協ホール

みみなし診療所生協ホールで、のんびりお茶を飲みながら悩み、困りごと、家族の健康、介護…なんでもスタッフと気軽にお話しませんか…？
たまには自分へのご褒美も… ちょっとお得なおはなしも…

すこやかカフェ案内チラシ

始めは、出来るだけ地域に医療福祉生協をお知らせする目的で、『お菓子とお茶の“茶ろん”』を地域の居場所づくりとして始めました。その取り組みは、現在は終了していますが、今年2月からは、第1火曜日の午前中にテーマを決めて「すこやかカフェ」を実施することになりました。

「すこやかカフェ」は定期的に決まった曜日に開催することで、困ったことや、健康のこと、愚痴をこぼしたいなど、『あそこに行ったら開いている期待の場所』を目指しました。医療や介護の相談もできるようになればいいなとメンバーは検討中です。1年目なので、認知度を高めるために生協とも関係の深い協同福祉会から講師に来ていただき、年4回1時間だけお話ししていただけるようにしました。その時は20人ぐらいの参加です。最初は0人でも1年間定期的にお知らせしながら開催しようと始めたところ、数人でも来てくださるようです。健康などのお話もできるようにと工夫を凝らされています。来られた方がご自身のご病気の話をされて気になることなど、スタッフともお互いに話をするうちに「来て良かったわ、ちょっと不安やったけど、一人じゃなかったと思ったら、うれしくなったわ！これからも来ていい？」といわれたとのこと。「これを目指していたんだ」と開催する側もうれしくなったそうです。

カフェ「血圧測ってみませんか！」

着物リメイクサークルのみなさん

奈良県医療福祉生協では、「骨のおはなし」「塩分クイズ」「カルシウムクイズ」「健康クイズ」「血圧のおはなし」など色々なメニューを持っており、出前講座に呼ばれることも出てきました。また、ある委員会ではラジオ体操の時に学校が「いつでも健康チャレンジシート」を配布してくれるなど、少しずつ地域に根ざした活動をすすめています。自分たちの中で出来る活動はなにかを絶えず考えながらすすめている姿に元気をいただきました。

「カフェ」の隣の場所では、着物リメイクサークルのみなさんが楽しそうにお話されていました。4年前4～5人から始めた着物リメイクサークル。今では15～16人までになったそうです。

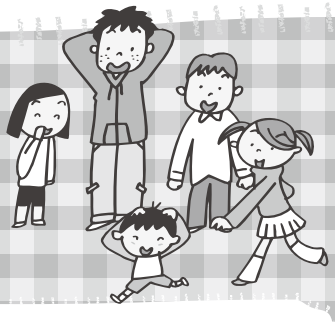
ならシニア元気フェスタ出展

5月11日橿原公苑にてならシニア元気フェスタ（主催：奈良県）が開催され、陸上競技場内の一部屋で、奈良県医療福祉生協と一緒に健康チェックコーナーとして出展しました。奈良県医療福祉生協のコーナーでは血圧、体脂肪、握力を測定してアドバイス。骨密度測定は他の団体が実施。奈良県生協連は「いつでも健康チャレンジ」コーナーを担当。8コース（バランスの良い食事、ウォーキングなど）から選択して4週間取り組む企画です。大人81名の方が説明を聞いてくださり参加してくださいました。この会場に来られる方は、運動競技に参加し健康にも注意しておられる方が多く、実施している私たちが学ぶことばかりでした。

フードバンク奈良総会開催

6月4日、コープふれあいセンター六条にて、関係者25名が出席して、フードバンク奈良設立から初めての総会が開催されました。総会前には、設立以来お世話になったとのことで奈良県生協連とならコープに感謝状が贈呈されました。設立から2018年度までの事業報告、決算、監査報告、役員改選案、2019年度事業計画、2019年度予算がすべて承認されました。設立から3月末までに23団体から5.7トンの食品の寄付を受け、56団体に登録していただき、のべ196団体に届けられたと報告がありました。今年度中にNPO法人格を取得する計画が報告されました。奈良県生協連は会計監査として参画しています。

奈良こども食堂ネットワーク
世話役団体会議開催



6月11日、ならコープ本部内会議室で、奈良こども食堂ネットワーク世話役団体会議が開催され、世話役団体13名が出席しました。7月10日に開催予定の会員交流会の企画案や今後の予定を検討しました。設立から時を経過するごとに、子どもとの関わりの悩みの事例も出てきました。奈良こどもネットワークの構成団体はこども食堂が46、サポーター団体は奈良県生協連、ならコープ、フードバンク奈良やおてらおやつクラブ、県こども家庭課など8団体になりました。

講演会「パリ協定・COP24以降の国際動向」

5月30日、講師に早川光俊氏（地球環境市民会議（CASA）専務理事・自然エネルギー市民の会事務局長・弁護士）をお招きして、講演会「パリ協定・COP24以降の国際動向」が奈良市ならまちセンター会議室で開催されました。主催はNPO法人サークルおてんとさん。奈良県生協連、再エネ協同基金が共催し、奈良県生協連はじめ、生協組合員、NPOや県議会議員、市民など32名が参加しました。

会場の様子

講演会では温暖化について、世界の状況についてわかりやすくお話しいただきました。

会場のアンケートからは、「とてもわかりやすく、現在の世界の気候や環境についてお話をしていただいた」「国の政策がCO_2削減に対し実効性がない事がよくわかった」「温暖化を止めるために学習し、具体的な行動を早く広めていかないと間に合わなくなっている」「政策を変える事が一番大事。非常に多くの課題・ヒントを得た」「市民の声を活かせるNPOの役割を大切にしていきたい」など多くの感想をいただきました。今、世界中で子どもたちが地球温暖化防止を訴えかけています。「次世代の子どもたちの幸せの追求」が世界を動かすようになってほしいです。

講師の早川光俊さん

Peace Now! 奈良2019

ポイント場所を紹介するポイントマン

6月16日(日) 奈良女子大学、奈良教育大学、奈良県立大学の学生委員11名の実行委員会が企画・主催する「Peace Now! 奈良2019」が開催され学生委員等58名、ならコープや奈良県生協連や大学生協職員他から10名が参加しました。

4回目となった今回は「奈良と平和の関係を知る」「平和への関心を深める」「平和に対して自分の意見を持つ」ことを獲得目標に開催されました。

9時に奈良教育大生協食堂に集合し、アイスブレイクの後6つの班に分かれてフィールドワークに出かけました。奈良教育大構内の奈良聯隊跡、奈良公園、奈良女子大学構内奉安殿や奈良の空襲被害を物語る戦争遺跡をめぐりました。各ポイントにはポイントマン（実行委員）が立ち、ポイントの解説とそこで自分が感じたことや考えを参加者に伝えました。午後からは奈良で空襲にあわれた鈴木知英子さんからお話をお聞きしました。その後実行委員が持ち寄った平和のコンテンツ（絵本・歌・教科書など）を閲覧しながら漠然とした平和の知識・関心を深めていく「ぴーなら図書館」を開設しました。最後に「平和について今日の参加者以外の人にも伝えていくにはどうすればいいのか」など一日の平和について思うこと、感じたことをワールドカフェで参加者と共有しました。

ぴーなら図書館

体験を語る鈴木知英子さん

特定非営利活動法人なら消費者ねっと第4回通常総会・記念学習会が開催されました

「広告表示の学習」「トラブル事案解決活動の報告」で交流

特定非営利活動法人なら消費者ねっとの第４回通常総会が6月8日、奈良弁護士会館で開催され、会員である奈良県生協連など諸団体および消費者・専門家・行政関係者の出席のもと全議案が承認され盛会裏に終了しました。来賓の奈良県消費・生活安全課田中利亨課長は同法人による県内消費者の利益擁護支援活動への期待を述べられ、また理事長北條正崇氏が大きな役割を担う団体としての決意を表明しました。

合わせて行われた記念学習会「今どきの広告の読み方」は奈良県と奈良県生協連の共催と奈良市の後援を得て開催、54人の参加者が集まり、公正取引委員会近畿中国四国事務所の赤土篤志さんによる学習講演を聴きました。

北條理事長

奈良県田中課長

講師の赤土氏

今どきの広告の読み方

赤土氏は公正取引委員会の事業や、消費者には普段なじみのない独占禁止法などの法的規制について紹介されました。「公取の使命は公正な市場を守ること」であり、それが消費者の権利が守られることにつながっているということです。

また、「今どきの広告の読み方」として、広告表示などについてルールを定めている景品表示法について詳しく解説されました。豪華すぎる景品や誇大広告で不当に顧客を誘引することを禁じていますが、実際よりも「おトク」に見せかける有利誤認表示や実際よりも良質に見せかける優良誤認表示は後を絶ちません。具体的な事例を画像で示しながら注意を促されました。

コインパーキングしらべ報告

講演の後、なら消費者ねっとが2018年度に奈良県から委託を受けた消費者利益擁護支援事業の一環である調査活動「コインパーキングの表示しらべ」を高良光江さんが報告、中には最大料金などを勘違いしてしまいそうな看板表示もあることが報告されました。「おとくな料金は適用の条件を確かめること」「自動精算機まわりにある表示でトラブル時の対応をチェックしておく」など、利用者が入庫時に気をつけるポイントがわかりました。

高良さん

なら消費者ねっと権利保護活動

続いて同事業の「事業者への改善要請活動」について竹内大敬弁護士から報告がありました。「新聞購読契約（高額な景品で契約させたり、長期の契約をさせている事案）」「銀行の無担保カードローンの利用規約(契約者の死亡時に相続人が残額を一括返済することになる規定)」「WEBサイトでの会員登録（恒常的な企画であるのに今だけ有利に見せかけて登録させる事案）」について、それぞれ事業者に対し改善するよう申し入れた結果、いずれも要請が受け入れられ事案が解決しました。この他に調査活動でわかったコインパーキングの利用規約で、利用者に一方的に不利なものがあり、改善要請を行いましたが、誠意ある回答が得られていないそうです。

竹内弁護士

2019年度第1回　生協・行政協議会

2019年度第1回生協・行政協議会を5月17日に開催し、田中利亨課長はじめ奈良県消費・生活安全課の４名の皆様、及び奈良県生協連の役員等16名が参加しました。はじめに奈良県から課の体制と所管業務、食品安全や消費者行政などの取り組みについて説明がありました。生協からは、奈良県生協連の本年度方針に続き出席役員からそれぞれの会員生協のこれからの取り組みや課題などを紹介しました。そのあと意見交換を行い、「消費者被害救済のため訴訟費用貸付制度があるが活用されていますか？」「県のSDGsの取り組みがもっと見えるようにしてはどうでしょうか」などの質問や意見が出されました。安心して暮らせる地域社会づくりをめざした県行政と生協との連携に向け、行政・生協双方が互いに理解を深めることができました。

3.11を忘れない

被災地のいま
みやぎ生協・コープふくしまから
宮城・福島のいまをお伝えします。

―まち・住まい・コミュニティ―

「多様なチャンネルを活用して、居場所を見つけられる街に」

宮城県東松島市野蒜（のびる）まちづくり協会

2019年6月5日

野蒜駅の改札を出ると、広場の向こうに野蒜ケ丘の新しい街並みが広がっています。

津波で甚大な被害をうけた東松島市野蒜地区では、多くの世帯が近くの山林を開いて造った高台へ集団移転しました。2017年10月にはまちびらきが行なわれています。

野蒜まちづくり協議会（以下まち協）は、住民参加のまちづくりを目指し、野蒜ケ丘の3自治会や東名・大塚など旧市街地の5自治会と協力しながら、様々な事業に取り組んでいます。

移転にあたって課題になったのがコミュニティ形成でした。まち協会長の菅原節郎さんは、「野蒜ケ丘は震災前のコミュニティを活かす形で移転したことや何度も話し合いを重ねたことで、“この街でこの人たちと暮らしていくんだ”という気持ちが醸成された。移転後も自治会ごとにイベントを開催し、それがコミュニティの活性化に役立っている」と話します。

最近は野蒜ケ丘の分譲地を買って移り住む若い世帯も増えてきました。一方、災害公営住宅や旧市街地を中心に高齢化も進んでいます。

まち協副会長の山縣嘉恵さんは「自治会のイベントに参加できない人もいる。そうした人々を含め、住民の地域での居場所づくりがまち協の役目になる」と言います。

同じくまち協副会長の佐賀剛さんも「地域全体のあり方を考え、若い世代が住みやすい街づくりや人材育成が大切になってくる」とこれからを見すえます。

まち協では、昨年度開催した地域づくり勉強会や若い母親のためのママカフェを、今後も行う予定です。

「ママカフェは市民センターの交流スペースを活用し、お母さんたちが子どもを遊ばせながらお茶を飲んだり、保健師さんや保育士さんに子育てについて相談したりする場」と山縣さん。地域づくり勉強会も「野蒜の街を知り、地域を担っていく人材を育てていくためのもの。今後も外部から講師を呼ぶなどして学ぶ機会をつくりたい」（佐賀さん）と積極的です。

菅原さんは「すべての住民が自分の役割や出番があるような街にしたい」との思いを抱いています。「そのためには人と人のつながりが数多くあった方がいい。自治会ごとの交流だけでなく、ママカフェや勉強会、趣味のグループなど様々なチャンネルを活用して、自分の居場所を見つけてほしい」。

もともと住民同士の付き合いが活発だった野蒜地区には、コミュニティの芯となる助け合いの習慣が今も根付いています。まち協の住民参加のまちづくりは、そうした故郷の財産を活かしながら、今後も進められていきます。

野蒜まちづくり協議会の皆さん。左から副会長の佐賀剛さん、会長の菅原節郎さん、副会長の山縣嘉恵さん。

震災後、高台に移設されたJR仙石線野蒜駅。広場のすぐ先に観光物産交流センターや市民センターがあります。

※2019年3月21日、みやぎ生協はコープふくしま・福島県南生協と組織合同しました。本誌のタイトルも「被災地のいま みやぎ生協・コープふくしまから宮城・福島のいまをお伝えします」に変え、福島県の現状についてもお伝えしていくようにいたします。

情報提供／みやぎ生協

県連日誌

4月

1日　県の新年度体制に伴う訪問
4日　日本生協連関西地連運営委員会
4日　日本生協連2019年近畿地区総会議案検討会議
18日　ピースアクションをすすめる会
26日　生協組合員理事交流会実行委員会
27日　「ワーカーズ　被災地に起つ」上映会（奈良県生協連後援）
28日　アースデー inなら2019（共催）

5月

9日　2018年度末監事監査
11日　ならシニア元気フェスタ
14日　奈良県農政推進会議農村活性化部会・第24回中山間地域等総合対策検討会
16日　2019年度第1回行政生協協議会
16日　2018年度第7回理事会
21日　ピースアクションをすすめる会
23日　なら健康・省エネ住宅を推進する県民会議2019年度第1回幹事会
23日　奈良教育大学生協総代会
24日　奈良女子大学生協総代会
28日　奈良県立大生協総会
30日　奈良高専生協総会
30日　講演会「パリ協定・COP24以降の国際動向」（主催：NPO法人サークルおてんとさん、共催：奈良県生協連他）

6月

4日　フードバンク奈良総会
8日　なら消費者ねっと第4回通常総会と記念学習会
11日　奈良こども食堂ネットワーク世話役団体会議
12日　生活クラブ生協総代会
13日　ならコープ総代会
14日　日本生協連第69回通常総会（東京）
15日　奈良県医療福祉生協総代会
16日　Peace Now！奈良 2019
21日　コープ自然派奈良総代会
22日　奈良県生協連第30期通常総会
22日　2019年度第1回理事会
27日　ピースアクションをすすめる会

公告　ピースアクションinなら2019

○講演「核兵器禁止条約の意義と世界の情勢、市民社会の課題」（仮）
　中村桂子氏（長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授）
○リレー報告　・核不拡散条約（NPT）再検討会議参加報告
　　・Peace Now 奈良 など
日　　時：2019年11月30日（土）13：30から16：00
会　　場：奈良商工会議所4階中ホール　定員90人
主　　催：ピースアクションをすすめる会（奈良県生協連と会員生協、ならコープ平和の会、で構成）
要申込み：奈良県生活協同組合連合会　TEL：0742－34－3535

編集後記

生協活動の卒業にあたり、感謝の気持ちでいっぱいです。「万人は一人のために一人は万人のために」という理念に触れ、目の前に広がる世界が変わりました。よりよい社会を築いていく協同組合の可能性を信じながら幸せな時間を過ごしました。ありがとうございました。（由）

「知る・考える・深める」「興味と関心を原動力に平和について多角的に考える」。今年の特徴は「ぴーなら図書館」。「裏のテーマは『つながり』」などなど。学生委員が自主的主体的に企画する「ピースナウなら」は今年で4回目だが、毎年新しい発見がある。（和）

昨年秋、私の関わる行政の環境イベントで脱プラスチックの啓発用に麦ストローを作りました。その後、庭に芽が出て育った大麦が無事に実り、先日刈入れしました。外皮をむくと黄金色のストローが出来上がります。インターネットで検索すると商品販売され始めているようです。（順）

慌ただしい前半が終わり今年も半分が過ぎました。今年も気になる地震や局地的な雨など気になるところではありますが、令和元年この元号が明るい時代となるように願うばかりです。（佳）

奈良県生活協同組合連合会　〒630-8136 奈良市恋の窪1丁目2-2
TEL 0742-34-3535　　FAX 0742-34-0043
URL https://www.narakenren.coop/